

富山市

ジージ・バーバの 孫育て手帳

孫はスクスク



家族はニコニコ





はじめに

働くお父さんとお母さんの代わりに、ジージとバーバが子育てを担う機会が増えています。同時に、昔とは子育ての方法が変化していることに不安を抱く方も増えています。

この「富山市ジージ・バーバの孫育て手帳」は、ジージとバーバや、これからお孫さんが生まれる予定の方に、現在の子育てに関する知識をお伝えするために作成しました。ぜひ孫育てにご活用ください。

もくじ

- 03 ジージ・バーバは「子育てサポーター」です
- 04 知っておきたい、子育ての「昔」と「今」
- 08 気になる今どき子育て環境をチェック
- 10 発育に寄り添うサポートで、いつも笑顔に
- 12 成長ステージごとの育児ポイントを心得る
- 16 いっしょに遊んで、楽しく孫育て
- 18 上手に活用しよう！ジージ・バーバの孫とおでかけ支援事業
- 20 身近にある事故のリスクから孫を守ろう
- 22 孫育てに悩んだら、気軽に相談を
- 23 “地域の孫育て”をサポートしませんか

ジージ・バーバは「子育てサポーター」です。

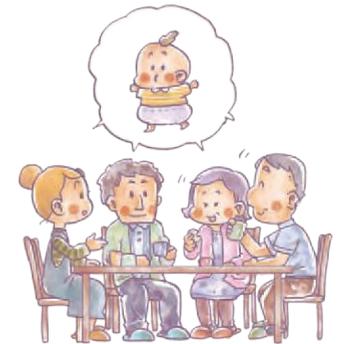


時代が移り変わるなか、ジージ・バーバは今どきの子育ての考え方や方法の違いに戸惑うことが少なくありません。そんなとき自分たちの役割は、子育てのサポーター（支援者）になることと考えましょう。

1

子育ての主役はパパとママ

子育ての主役は、パパとママです。ジージ・バーバは、あくまで子育てをサポートする脇役。主役の2人がどのように子育てしたいと考えているのか、妊娠中から家族みんなで話し合っておくとよいですね。



2

違いはいったん受けとめて

いざ子育てが始まると、パパ・ママと考え方や方法が違い、摩擦が起きるかもしれません。「それは違う」とすぐに否定せず、「なるほど」と一度受けとめてから「こんな方法もあるよ」などと提案してみましょう。



3

自分たちの楽しみも大切に

ジージ・バーバは頼られると、つい何でも引き受けがち。でも自分の趣味やボランティア活動なども大切です。孫は成長とともに手がかからなくなります。自分らしいライフスタイルを楽しみながら孫育てをしましょう。



知っておきたい、子育ての「昔」と「今」。

子育ての環境や情報は、つねに変化し進歩しています。昔と今の子育ての違いを知って、さまざまな悩みを抱えるパパ・ママが、安心して頼れるサポーターになりましょう。

昔

母乳

今

母乳よりミルクの方が栄養があり、赤ちゃんがよく育つとされていました。



母乳には赤ちゃんに必要な栄養が豊富に含まれるため、母乳育児を勧めています。

白湯・果汁など

お風呂上がりには白湯、離乳食を始める前には果汁を飲ませるのが一般的でした。



白湯よりも、栄養たっぷりの母乳かミルクをあげる方が良いとされています。また生後6か月未満の赤ちゃんには果汁を与えなくなっています。

離乳食

赤ちゃんが食べやすいように、大人が噛み砕いて柔らかくしたり、砕いた食べ物を親の箸やスプーンで食べさせていました。



大人が口の中で砕いたものを食べさせることも、箸やスプーンの共有も厳禁。むし歯菌やピロリ菌がうつり、衛生面で不適切です。

昔

断乳・卒乳

今

栄養が乏しい、むし歯になるなどの理由で、「断乳」(母親が授乳を止めること)が勧められていました。



子どもが自然におっぱいから離れるまで授乳するのが主流で、授乳の終わりは「卒乳」と表現します。

食物アレルギー

かつては多くみられる病気ではなく、「昔はアレルギーはなかった」とさえ言われています。



さまざまなアレルギーがあり、子どものアレルギー疾患が増えています。特に食べ物については、親によく確認してから与えましょう。

おむつ

昔の紙おむつは高価な上に品質が低く、長時間使用による皮膚トラブルが多くありました。



現在の紙おむつはもれにくく、サイズも豊富で洗濯の手間いらずですが、経済的な負担やゴミも増えます。一方、布おむつは通気性がよく肌に優しいのですが、もれやすく、洗濯が必要です。

両方のメリットとデメリットを考えて上手に使いましょう。

おむつはずれ

2歳くらいまでを目安に、おむつをはずしていました。



おむつがはずれるのは平均3歳前後。パンツを脱ぐ、排せつする、パンツをはくという一連の動作ができるよう、子どものペースでトイレトレーニングを進めます。

昔

抱きグセ

すぐに抱っこすると、抱きグセがつくと言われていました。



赤ちゃんが泣くのは何かの欲求を伝えたいからです。抱っこして応え、安心させてあげましょう。

今

抱っこ・おんぶ

家事をするときなど、両手が自由に使えるおんぶが主流でした。



抱っこ紐やスリングなどいろいろな抱っこグッズがあり、前抱っこするママが増えています。前抱っこは料理や家事の際には注意が必要で、おんぶも見直されています。

歩行器

赤ちゃんの歩行訓練になると言われていました。



あくまでおもちゃと位置づけられ、歩行開始を早めるとは考えられていません。今はむしろハイハイさせることが大切とされます。

昔

ベビーパウダー

お風呂上がりや、おむつかぶれにベビーパウダーをつけるのが常識でした。



大量のベビーパウダーは、汗を出す毛穴の汗腺をふさぎ、湿疹やかぶれの原因になります。今は、オイルやローション、クリームなどを使うのが一般的です。

今

日光浴

日光浴をしないと、くる病(ビタミンD欠乏症)になると言われていました。



今は赤ちゃんを外気や温度差に慣らす「外気浴」が勧められています。

外気浴は紫外線が強い10時～14時を避け、帽子などで直射日光を防いで行います。

地球のオゾン層破壊が進んで紫外線が増え、約20年前に母子健康手帳から「日光浴」の記述はなくなりました。

予防接種

義務接種、集団接種を行っていました。



全て医療機関での個別接種です。

医療が進歩し、感染症を防ぐための予防接種が数多くあります。定期接種と任意接種があり、かかると重い後遺症が残る感染症もあるので、任意のワクチン接種も大切です。

気になる 今どき子育て環境をチェック。

テレビが生活の一部になり、老若男女がスマホを手放せない…、そんな今どきの生活環境に応じた子育てや、細やかな目配り・気配りが必要なポイントをチェックしておきましょう。

テレビは親子で上手に選んで

長時間テレビを見ている乳幼児は、言語や社会性の発達が遅れる傾向があるとされ、小児科医学会では「2歳まではテレビを控えよう」と呼びかけています。子守り代わりにテレビを見せっぱなしにせず、食事中はつけないなどメリハリをつけ、目を合わせて話しかける時間を大切にしましょう。



スマホは上手に安全な使用を

乳幼児を静かに落ち着かせたいとき、スマホは親にとっては便利かもしれませんが、コミュニケーションを大切にしたいもの。貴重な時間の中でたくさん話して過ごす経験は健やかな心身の基本になります。スマホが乳幼児に与える影響を理解して、使用する時間や条件を決めるなど上手に安全に利用しましょう。



子どもにタバコは近づけない

ハイハイできるようになった赤ちゃんに多い事故が、タバコの誤飲です。タバコ1本に含まれるニコチンが、乳幼児には致死量になります。またタバコの煙には有害化合物や、発がん物質も含まれています。煙が直接あたらなくても、タバコの煙で汚染された壁や床に有害な物質が付いており、乳幼児突然死症候群の原因になるとも言われています。子どもの周囲での喫煙は避け、健やかな成長を守りましょう。



命を守るチャイルドシート

幼児(6歳未満の子ども)を同乗させて運転するとき、チャイルドシートの使用が法律で義務づけられています(※疾病のため使用が療養上適当でない場合は使用義務免除)。子どもの命を守るために必ずチャイルドシートを正しく使用しましょう。

取付方法や子どもの座り方が不適切だとチャイルドシートの効果が発揮されません。正しく使うことが肝心です。



ハチミツは1歳を過ぎてから

1歳未満の赤ちゃんがハチミツを食べると乳児ボツリヌス症にかかることがあります。1歳未満の赤ちゃんにはハチミツやハチミツ入りの飲料・お菓子などは与えないようにしましょう。

ボツリヌス菌は土壌中などに広く存在し、食物を介して体内に入ることがあります。赤ちゃんは腸内環境が整っていないため菌が増え、便秘やほ乳力の低下などが起き、まれに亡くなることもあります。ボツリヌス菌は熱に強く通常の加熱や調理では死にません。



乳幼児突然死症候群(SIDS)を防ぐ

SIDSは元気だった赤ちゃんが突然、睡眠中に亡くなる病気です。原因は不明ですが、病気の発生を減らすため、日頃から下記のことを心がけてください。

- ◎寝かせるときは、あお向け寝にする。
(医学的な理由で、医師がうつぶせ寝を勧める場合は指導に従う)
- ◎妊婦や赤ちゃんの周囲でタバコを吸わない。
- ◎できるだけ母乳で育てる。



乳幼児揺さぶられ症候群について

赤ちゃんは首の筋肉が未発達なため、激しく揺さぶられると脳が衝撃を受けやすく、脳の損傷で重い障害が起きたり、命が脅かされる場合もあります。これが乳幼児揺さぶられ症候群です。赤ちゃんが泣きやまないときなど、決して赤ちゃんを揺さぶらないでください。万が一、激しく揺さぶってしまったら、すぐに医療機関を受診しましょう。



発育に寄り添うサポートで、いつも笑顔に。

ジージ・バーバのサポートは、妊娠がわかったときから始まります。孫の誕生から、歩き始め、お話しできるようになる…そんな発育に応じた支えが、パパ・ママのゆとりに、家族みんなの笑顔につながります。



育さぽとやま by 母子モ

お孫さんの成長記録を
パパ・ママと共有することができます。



問い合わせ
富山県子ども支援課
☎443-2252

サポート

産後の心身をサポート
親の心をサポート
お風呂サポートなど
ゆっくりと成長を見守りましょう
コミュニケーションを楽しもう
家事・育児をサポート
社会性などを育むサポート

お誕生 1か月 2か月 3か月 4か月 5か月 6か月 7か月 8か月 9か月 10か月 11か月 1歳 1歳2か月 1歳4か月 1歳半 2歳 3歳

顔を見つめる

声の方に振り向く

パパ・ママなど意味なく言う

声を出して笑う

いないいないばあを喜ぶ

意味のある言葉を一語言う

名前を言う



ガラガラを振る

バイバイをする

コップで飲む

スプーンで食べる

上着などを脱ぐ



ハイハイ

首がすわる

支えなしに座る

一人で上手に立ってられる

積み木を重ねる

ボールをなげる

寝返りをうつ

つかまり立ち

ひとり歩き

走る

階段をのぼる



コミュニケーション

手指

運動

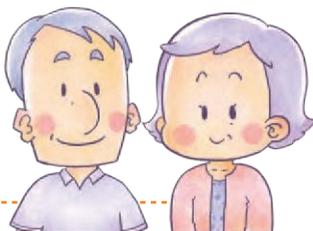
全身

子どもの発育と発達の見守り

※個人差があるので参考程度に

成長ステージごとの 育児ポイントを心得る。

日に日に成長する孫を見守ることは、ジージ・バーバの何よりの幸せです。健やかな成長をずっとサポートしていくために、発達の段階ごとに心得ておきたい育児のポイントを紹介します。



基本的な心がまえ

気持ちはいつもゆったりと。

子どもの成長には個人差があります。わかっていても、パパ・ママはほかの子と比べてしまい、不安は尽きないものです。そんなパパ・ママがゆったりとした気持ちで育児ができるよう、ジージ・バーバはサポートしましょう。

相談できる人は身近にいます。

健康診査は赤ちゃんの健康状態を確認するためにとっても大切です。特に4か月と1歳6か月児、3歳児の健康診査(集団健診)、乳児一般健康診査(6～7か月、9～10か月頃)にかけつけ医で受診)はきちんと受診できるよう、送迎などをサポートしましょう。健診では育児の悩みなどを、医師や保健師などに気軽に相談できます。保健福祉センターでは電話相談も受け付けているほか、保健師の家庭訪問も利用できます。

パパの役割も大切です。

ママを孤独にさせず、精神的に支え、いたわることはパパの大切な役割です。おむつ替えや、お風呂に入れたり、あやしたりなど、当たり前のこととして育児に参加してほしいものです。ジージ・バーバもパパの役割を理解して育児への参加を促しましょう。

赤ちゃんは抱っこが大好きです。

おむつもきれいで、お腹もすいていないのに、泣いてぐずるときは、抱っこしてあやしてあげましょう。怖がり不安そうなきも抱っこして安心させてあげましょう。6か月頃から夜泣きも増えます。お腹がすいているようなら、夜中でも母乳やミルクをあげて良いことをパパ・ママに助言しましょう。



乳児期(1歳まで)

話しかけて遊んであげましょう。

3～4か月になると、あやすとにっこり笑い、こちらに話しかけるように声を出すようになります。赤ちゃんの顔をのぞきこみ、話しかけて遊んであげましょう。

口で感触を楽しみます。

赤ちゃんは指をしゃぶったり、おもちゃを口に入れて遊びます。これは口の発達に大切なことなので、おもちゃは清潔にして与えてください。指しゃぶりをやめさせようと、おしゃぶりを与える必要はありません。

人見知り成長のしるし。

子どもによって時期や程度は異なりますが、人見知りは、家族と見慣れない人を区別できるようになった成長の証しです。同じ年頃の子と一緒過ごす機会を作りましょう。



幼児期(1～2歳)

できたときは、ほめてあげる。

自分でできることが増え、何でも自分でやりたい気持ちが芽生えます。思うようにできず、泣いたり、怒ったり、大声を出すことも…。うまくできたときはほめて、意欲を育てましょう。

ふれあう時間をたっぷり。

1歳6か月頃になると、動物やモノを指さして教えてくれるようになります。絵本を見たり、一緒に遊んだりなどふれあう時間を増やしましょう。言葉の発達を促すためにも、テレビやDVDを長時間見せっぱなしにするのはやめましょう。

生活リズムを整えましょう。

早寝早起きの生活をする事で、子どもは元気よく遊びます。歩いたり、走ったりなど、体を思いきり動かして楽しむ時間をつくってあげましょう。

幼児期(2～3歳)

安全な場所で自由に遊ばせましょう。

体を動かして遊ぶことが、ますます好きになります。外遊びや、友だちと遊ぶ機会をつくり、危険のない場所で自由に遊ばせましょう。クレヨンなどでなぐり書きを楽しんだり、積み木やブロックで何か作ったりするようになりますので、一緒に遊んであげてください。

自立心が強くなります。

食事や着替えなど、自分でしたがるようになります。うまくできず泣いたり怒ったりしますが、できることを増やせるよう見守り、ほめてあげましょう。新しい体験や怖い出来事があると、甘えてくることも…。そんなときは優しく受け入れ、抱っこしてあげてください。



少しずつおむつを取る練習を。

おしっこやうんちが出たと言えるようになり、「出たら教えてね」という言葉もわかるようになります。失敗して怒るのではなく、できたことをほめてあげると、やがてできるようになります。夜のおむつがとれるのはまだ先です。

**むし歯予防を心がけましょう。**

むし歯がしやすい時期です。おやつ回数を決め、仕上げ磨きをしたり、フッ化物塗布をしたりして予防しましょう。

まだまだ甘えたい時期です。

ずいぶん大きくなったと感じても、まだまだ甘えたい時期です。笑顔で抱きしめてあげてください。

自己主張には耳を傾けましょう。

好き嫌いや、自己主張がはっきりしはじめ、自分本位な要求もするようになります。一方的に拒否せず、まずは耳を傾けて優しく対応します。何かと自分でやりたいがる時期なので、少しだけ手を貸しながら、できることはやらせましょう。

**叱るときは冷静にいてねいに。**

危ないこと、してはいけないことは、感情的に叱るのではなく、なぜいけないのかを、ていねいに伝えてやめさせましょう。理解できたら、ほめてあげてください。

家族で食卓を囲みましょう。

家族揃っての食事や団らんを大切にしましょう。乳歯が生えそろう3歳以降は、歯ごたえのあるものもゆっくりかんで食べさせ、かむ力を育てます。よくかむことは、あごの発育や永久歯の歯並びにも良い影響を与えます。

友だちと遊ぶ機会をつくりましょう。

4歳頃には、ままごとやヒーローごっこなど役割を持った「ごっこ遊び」を楽しむようになります。友だちと遊ぶ機会を積極的につくってあげましょう。

また、公園の遊具で遊んだり、三輪車をこいだりして楽しむようになります。

**できることからお手伝い。**

洗濯物をたたむなど、できることから少しずつ手伝ってもらいましょう。

良いところは、どんどんほめて。

どの子どもみんな良いところがあります。良いところを探してほめましょう。また子どもの話には耳を傾けて、しっかり聞いてあげましょう。

いつも優しく接しましょう。

子どもは周りの大人のマネをします。大人が優しく接すれば、優しい子どもに育ちます。

一緒にできる遊びが広がります。

手先の細かな動きが発達して、はさみや鉛筆などを使えるようになります。家庭にある材料で何かを作ることや、ボール遊びもできるようになります。

ひとりで着替える練習を。

時間がかかっても、励まし、応援してあげてください。できたら一緒に喜び、ほめましょう。

自分の役割を持たせましょう。

家での自分の役割として、食器を並べる、片付けるなどの手伝いをしてもらいましょう。おもちゃの後片付けも自分でできるよう習慣づけましょう。

言葉や想像力が豊かになります。

正しい発音ができるようになってきます。発音の誤りや言葉につかえても、無理に直したりせず、ゆっくり話を聞きましょう。絵本の物語の続きを一緒に考えるなど、子どもの想像にも付き合ってください。

**約束やルールを守れるように。**

仲良しの友だちができ、一緒に遊びながらさまざまな経験をして社会性を身につけていきます。自分の好き嫌いだけで行動するのではなく、約束やルールを守れることを伝えましょう。

永久歯が生え始めます。

永久歯へ生え変わるタイミングで、自分から歯磨きをする自主性を養いましょう。一生使う大切な歯ですから、むし歯になりやすい奥歯には気をつけてあげてください。

いっしょに遊んで、 楽しく孫育て。

遊びは子どもの成長に欠かせません。手遊びやふれあい遊びは互いの愛着が深まり、リズム感や言葉の発達も促します。また身近な材料でおもちゃを手作りすると、創造力が養われます。



手遊び



いっぽんばし こちょこちょ

手のひらや腕、首、頭など全身にふれて遊びましょう。

♪ いっぽんばし

…向かい合ってすわり、
子どもの手のひらに
ひとさし指で「1」を書きます

こちょこちょ

…手のひらをくすぐります

たたいて

…手のひらをやさしくたたきます

つねって

…手のひらをやさしくつねります

な～でて

…手のひらをやさしくなめます

かいたんのぼって

…右手をチョキにして、
指を交互に動かしながら腕を上っていきます

こちょこちょ

…体のいろいろなところをくすぐります



手遊び



むすんで ひらいて

二人で向かい合い、簡単な動きを楽しみましょう。

♪ ①むすんで

…両手をグ～にして胸の前で上下に振ります

②ひらいて

…両手をパーにして左右に動かします

③てをうって

…二人で手を打ち合わせます

④むすんで

…①と同じ

⑤またひらいて

…②と同じ

⑥てをうって

…③と同じ

⑦そのてを

…①と同じ

⑧うえに

…ばんざいする

※アレンジ：⑧の動きを変えてみましょう

- よこに …両腕を広げる
- あたまに …頭の上ののせる など



段ボール遊び

段ボールで ブッパー!



段ボールが自動車に変身！
後ろから押したり、段ボールに
丈夫なひもをつけて前から引っ
張ったりして楽しみましょう。



ふれあい遊び

あんよ イチ! ニ!



おとなの足の甲に子どもが乗ります。
息を合わせて進むのが楽しい!



ほかにもこんなあ・そ・び!

- あがり目さがり目
- だるまさんだるまさん
- とんとんとん ひげじいさん
- ごんべえさんの赤ちゃん
- おはぎがお嫁にいくときは

いっしょに **作って** 遊ぼう

紙皿で風船つき ～ふんわり上がる風船を二人でついて遊ぼう!～

用意するもの：紙皿2 割り箸2 風船1



- ①紙皿に油性ペンで、好きな絵を描きます。
- ②紙皿の裏に割り箸をガムテープで貼り付けます。
- ③風船をふくらまし、口の部分を結びます。

※アレンジ：紙皿がない時はうちわでOK!
ティッシュを丸めてセロハンテープでとめれば、
風船の代わりになります。



上手に活用しよう! ジージ・バーバの孫とおでかけ支援事業。



祖父母の方がお孫さんと下記の施設に来館されると、**入園料・観覧料が無料**になる取り組みを富山市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、高岡市、氷見市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町、魚津市、黒部市の13市町村で行っています。

- 期間** 2023年3月31日(金)まで
- 対象者** 対象施設と一緒に入館される祖父母と孫(ひ孫)
※祖父母の方は、上記連携市町村にお住まいの方に限ります。
※お孫(ひ孫)さんについては制限はありません。
- 利用方法** 入館の際に申請書を記入していただきます。

	対象施設
砺波市	チューリップ四季彩館、砺波市美術館、松村外次郎記念庄川美術館、庄川水資料館、となみ散居村ミュージアム(民具館)、砺波市出町子供歌舞伎曳山会館
小矢部市	クロスランドタワー、ダ・ピンチテクノミュージアム
南砺市	城端曳山会館、じょうはな織館、五箇山和紙の里、五箇山民俗館、塩硝の館、利賀瞑想の郷、井波彫刻総合会館、いのくち椿館、園芸植物園、福光美術館(常設展のみ)、棟方志功記念館「愛染苑」、松村記念会館
射水市	新湊博物館、大島絵本館
高岡市	万葉歴史館、藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー、ミュゼふくおかカメラ館、福岡歴史民俗資料館、土蔵造りのまち資料館、鋳物資料館、武田家住宅、伏木北前船資料館、伏木気象資料館、高岡御車山会館
氷見市	潮風ギャラリー藤子不二雄ARTコレクション、氷見市立博物館、氷見市海浜植物園
滑川市	ほたるいかミュージアム、滑川市立博物館
舟橋村	対象施設無し
上市町	対象施設無し
立山町	対象施設無し
魚津市	魚津埋没林博物館、※魚津水族館 <small>※孫とおでかけ支援事業は休止中</small>
黒部市	吉田科学館、黒部市歴史民俗資料館、黒部市美術館、セレネ美術館、YKKセンターパーク

富山市

	対象施設
ファミリーパーク	富山市古沢254番地 ☎434-1234
科学博物館	富山市西中野町一丁目8-31 ☎491-2123(代)
郷土博物館	富山市本丸1-62 ☎432-7911
佐藤記念美術館	富山市本丸1-33 ☎432-9031
民俗民芸村	富山市安養坊1118-1 ☎433-8270
猪谷関所館	富山市猪谷978-4 ☎484-1007
大山歴史民俗資料館	富山市亀谷1番地 ☎481-1415
八尾おわら資料館	富山市八尾町東町2105番地1 ☎455-1780
旧森家住宅	富山市東岩瀬町108 ☎437-8960
旧馬場家住宅	富山市東岩瀬町107番地2 ☎456-7815
浮田家住宅	富山市太田南町272 ☎492-1516
八尾曳山展示館	富山市八尾町上新町2898-1 ☎454-5138
八尾化石資料館	富山市八尾町桐谷4815番地 ☎454-7810
ガラス美術館	富山市西町5番1号 ☎461-3100

■事業の問い合わせ 富山市教育委員会 生涯学習課 文化財係 ☎076-443-2138

その他、子どもが安心して過ごせる子育て支援施設や子育てサロンなどが市内各地にあります。おもちゃや絵本があり、季節のイベントなども行っているので、孫と一緒に思い出してみませんか。

児童館(富山市)

名称	所在地	電話番号
五福児童館	五福4431-1	432-9750
北部児童館	蓮町一丁目4-11	437-4006
山室児童館	高屋敷573-5	492-1377
蛭川児童館	下堀77-7	491-2618
水橋児童館	水橋中村町240-11	478-0478
星井町児童館	星井町二丁目7-11	423-3831
東部児童館	石金一丁目5-37	421-4212
中央児童館	(Ciビル5F)新富町一丁目2-3	405-6065
大沢野児童館	高内64	468-3737
大久保児童館	下大久保2433-1	467-1043
婦中央児童館	婦中町速星750-2	466-3011
神保児童館	婦中町上吉川403-1	469-4648
山田児童館	山田中瀬106	457-2080

子育て支援センター(富山市)

富山市子育て支援センター	(Ciビル4F)新富町一丁目2-3	444-1110
桜谷子育て支援センター	(桜谷保育園内)石坂新68-3	411-5058
常盤台子育て支援センター	(常盤台保育園みどり館内)経堂三丁目155	424-9222
わかば子育て支援センター	(わかばにこにこ園内)堀川町455	424-8835
いちい子育て支援センター	(いちい保育園内)布市682-1	429-6161
萩浦子育て支援センター	(萩浦保育園内)高島町二丁目3-23	481-7282
東山子育て支援センター	(東山保育園内)吉作4303-1	436-6810
まつわか子育て支援センター	(まつわか保育園内)松若町16-37	441-8371
光陽もなみ子育て支援センター	(光陽もなみ保育園内)布瀬町南二丁目3-6	421-4964
大久保子育て支援センター	(大久保児童館内)下大久保2433-1	467-1043
上滝子育て支援センター	(上滝保育園内)上滝499	483-1043
八尾子育て支援センター	(八尾健康福祉総合センター内)八尾町福島200	455-3714
婦中央子育て支援センター	(婦中央児童館内)婦中町速星750-2	466-5012
じんぼ子育て支援センター	(じんぼ保育園内)婦中町上吉川400	469-6676

とやま子育て応援団

毎月「とやま家族ふれあいウィーク」の期間中を中心に、18歳未満(高校生在学者含む)の子ども連れの家族が、協賛店を利用した場合に、協賛店が設定している割引や特典等の各種サービスが受けられる制度です。

問い合わせ
富山県子ども支援課
☎076-444-3208



とやまっ子 子育て応援券

県と市町村では、子育て家庭の精神的・身体的・経済的負担の軽減を図るとともに、地域における各種保育サービス等の利用を促進するため、保育サービス等の利用券「とやまっ子 子育て応援券」を配付しています。

●応援券の金額: 第1子/1万円分、第2子/2万円分、第3子以降/3万円分 ●応援券の有効期間: 3歳の誕生日の前日まで ●応援券の配付窓口: 市町村の児童福祉担当窓口等

身近にある事故のリスクから孫を守ろう。

家の中でも、屋外でも、大人には何でもないことが、子どもにとって非常に危険な場合があります。日常にひそむリスクに気をつけて安全な環境を整え、孫を事故から守りましょう。

屋内 玄関

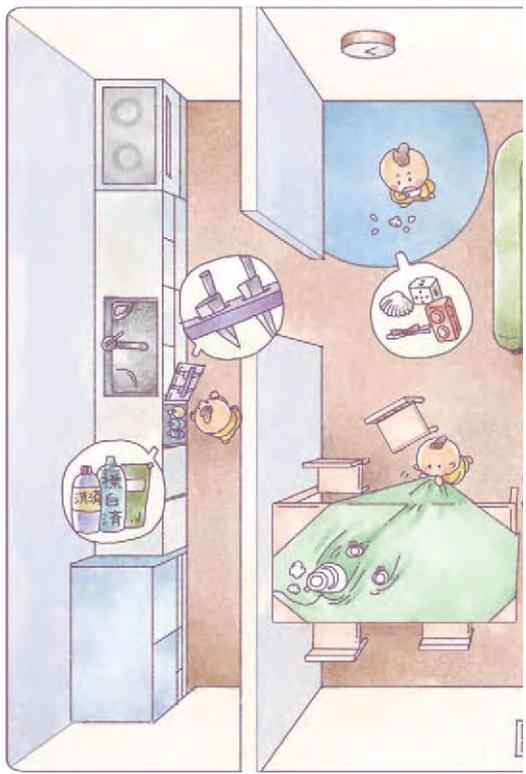
- ドアの開閉で手足をはさまないように

キッチン・ダイニング

- 炊飯器やポットは手の届かないところへ
- テーブルクロスはしない
- 流しの下に、包丁や洗剤など危険なものを置かない
- のどにつまりやすいもの（飴玉やナッツ類など）を手の届くところに置かない

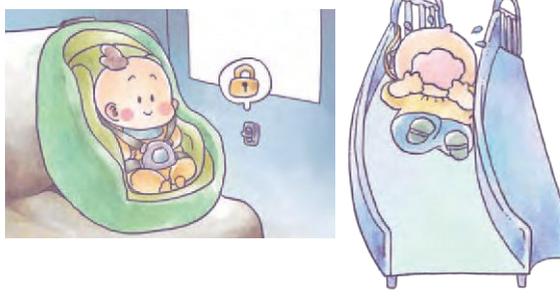
リビング・寝室

- たばこや灰皿、ライターは手の届かないところへ
- ソファなど高いところに寝かせない
- ベビーベッドは常に柵を上げておく
- コンセントは感電防止のキャップをする
- アイロンは使い終わったらしまう
- 口に入る小さなおもちゃは与えない
- ピンやクリップ、薬などを放置しない
- 角が鋭い家具は、角にクッションテープをつける
- 布団は固めの物を選ぶ
- うつぶせ寝をさせない
- 電気毛布・ホットカーペットによる低温やけどに注意する
- ストーブの前に柵をする
- はねのある扇風機にはネットカバーをつける



屋外 車

- 必ずチャイルドシートを使用する
- 車外に飛び出さないようドアにロックをかける
- 車の近くにいるときは目を離さない
- 交通ルールについてくり返し教える
- 車内に放置しない



階段

- 上り口や下り口に柵をつける
- ひとりですり下りさせない



風呂場・トイレ(水の事故)

- 浴槽や洗濯機に水をためておかない
- 使用しない時は洋式トイレの蓋を閉める
- ※5cmの水位でも溺れてしまうことがあります
- ドラム式洗濯機は蓋を閉める
- 洗剤、化粧品、薬品は手の届かない場所に移動



ベランダ

- 踏み台になるものは置かない
- 窓の開閉で指をはさまないように



自転車

- 自転車に乗せたまま離れない
- シートベルトを装着し、ヘルメットをかぶせる



公園

- 首回りにフードやひものついた服は着せない
- 肩掛けカバンやマフラーははずす
- 目を離さない

※参考「子どもを事故から守る!!事故防止ハンドブック」(関連情報)消費者庁ウェブサイト「子どもを事故から守る!事故防止ポータル」(http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/)子どもの事故予防に関する豆知識や注意点を、Twitterやメール配信しています。



孫育てに悩んだら、 気軽に相談を。

疑問や悩みに応える相談サービスがあります。さまざまな専門家が応えますので、孫育てに悩んだら気軽に利用しましょう。



乳幼児の健康に関する電話相談

子育て世代包括支援センターは、妊娠期から子育て期にわたる、きめ細やかな相談支援を行っており、母乳育児や離乳食のすすめ方、しつけの方法など、子育てに関することや、健康に関する相談に応じています。(7つの保健福祉センターは、子育て世代包括支援センターの役割を担っています。)

- A** 8:30～17:15(土・日・祝日休み)
- B** 中央保健福祉センター ☎422-1172
南保健福祉センター ☎428-1156
北保健福祉センター ☎426-0050
大沢野保健福祉センター ☎467-5812
大山保健福祉センター ☎483-1727
八尾保健福祉センター ☎455-2474
西保健福祉センター ☎469-0770
- C** 保健師、栄養士等

就学相談・発達に関する相談 (さわやか相談会)

幼児から小・中学生とその保護者の就学・学校生活の不安や心配などの相談に応じます。

- A** 年間12回(詳細は問い合わせください。)
- B** 学校教育課 ☎443-2135
- C** 幼稚園教諭、保育士、保健師、特別支援学校教諭等

家庭児童相談

家庭における子どもの養育に関する相談、児童虐待に関する通告などに応じます。

- A** 8:30～17:15(土・日・祝日休み)
- B** こども健康課 ☎443-2038
- C** 保健師、保育士、社会福祉士、家庭児童相談員等

各専門家が相談に応じます。気軽に電話してみてください。

- A** 相談時間 **B** 実施機関 **C** 担当

子育てほっとステーション

乳幼児から小・中学生までの子育て相談に応じます。

乳幼児：心身の発達、しつけ、ことばの遅れなど
小・中学生：集団への不適応、不登校、いじめなど

- A** 面接相談10:00～17:00
(毎日※12/29～1/3、CiC休館日を除く)
電話相談24時間、年中無休
- B** 富山市子育て支援センター ☎444-1110
- C** 保育士・家庭教育専門相談員・言語聴覚士・看護師・電話相談員等

こども発達支援室

ことばが遅い、1人で歩くことができない、目線が合わない、友達とうまく遊べないなど、心や身体の発達の遅れについての相談に応じます。

- A** 8:30～17:00(日・祝日休み)
- B** こども発達支援室 ☎461-5470
- C** 乳幼児相談担当

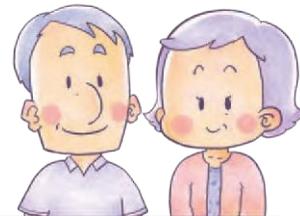
ひとり親家庭の相談

一人ひとりに寄り添ったサポートをします。

- A** 8:30～17:00(土・日・祝日休み)
- B** こども福祉課 ☎443-2055
- C** ひとり親アテンダント、母子・父子自立支援員

“地域の孫育て”を サポートしませんか。

人生経験豊かなジージ・バーバ世代の力が必要な子育て家庭が、皆さんの地域にも多くあります。子育て支援の各種ボランティアに参加して、“地域の孫育て”に力を発揮しませんか。



富山市ファミリー・サポート・センター

子育てのお手伝いができる協力会員の募集。

富山市内在住で、子育ての援助を行いたい方、心身ともに健康で社会参加をしてみたいと思っている方、経験・資格・性別は問いません。安心して子育てをサポートするため、補償保険制度に加入しています。(保険料の負担はありません)

- 富山市ファミリー・サポート・センター本部 CiCビル4階 ☎432-7212
- 大沢野窓口・大沢野行政サービスセンター地域福祉課内 ☎467-5830
- 大山窓口・大山行政サービスセンター地域福祉課内 ☎483-1214
- 八尾窓口・八尾行政サービスセンター地域福祉課内 ☎455-2461
- 婦中窓口・婦中行政サービスセンター地域福祉課内 ☎465-2114

シニア保育サポーター

お近くの公立保育所・公立認定こども園・公立幼稚園でボランティア活動の出来る方を募集しています。

例(環境整備、行事の準備や補助、保育教材の準備、伝承遊びの継承)

- お問い合わせ
公立保育所・公立認定こども園：
富山市こども保育課 ☎443-2060
- 公立幼稚園：
富山市教育総務課 ☎443-2130
- または、最寄りの公立保育所・公立認定こども園・公立幼稚園

子育てボランティア

子育て家庭のサポートに必要な知識や技術を学び、子育て支援センターでの事業に参加できる方を募集しています。

- お問い合わせ
富山市子育て支援センター ☎444-1110

地域児童健全育成事業の指導員

放課後、小学校の余裕教室等で保護者が迎えに来るまでの間、小学生をお預かりする指導員を募集しています。

- お問い合わせ
富山市こども支援課 ☎443-2204

保健推進員

保健福祉センターの保健師と連携して活動する地域の健康づくりボランティアです。

- お問い合わせ
富山市こども健康課 ☎443-2248



緊急時の連絡先・相談先



	名前・名称	電話番号・所在地
家族の 携帯電話や 勤務先		
孫の かかりつけ医		
幼稚園・保育所の 連絡先		
タクシー会社		

急な病気に困ったら…子ども医療電話相談事業

(全国同一の短縮ダイヤル)

休日、夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、受診した方が良いのか迷ったときは、小児科医や看護師から、症状に応じた適切な対応の仕方や受診する病院などのアドバイスが受けられます。

8 0 0 0

受付時間 平日: 19時～翌朝9時
土曜: 13時～翌朝9時
日曜・祝日: 朝9時～翌朝9時

※詳しい実施状況は、厚生労働省「子ども医療電話相談事業(# 8000)について」ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2006/10/tp1010-3.html>

※日本小児科学会「こどもの救急」ホームページ
<http://kodomo-qq.jp/>

薬品や有害物質を飲んでしまったら…

公益財団法人 日本中毒情報センター

化学物質(たばこ、家庭用品など)、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性の中毒について情報提供、相談が行われています(異物誤飲(小石、ビー玉など)、食中毒、慢性の中毒、常用量での医薬品の副作用は受け付けていません)。

<https://www.j-poison-ic.or.jp>

大阪中毒110番 ☎072-727-2499 ●24時間 365日対応

つくば中毒110番 ☎029-852-9999 ●9時～21時 365日対応

たばこ誤飲事故専用電話 ☎072-726-9922 ●無料(テープによる情報提供) ●24時間 365日対応

●自動音声応答による情報提供

富山市子ども家庭部子育て支援センター

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3 CiCビル4F ☎076-444-1110